

令和5年度 東京都立永山高等学校 学校経営計画

	<p>【生涯にわたり通用する人間力が身に付き、多様な進路実現が可能な学校】 本校の教育目標である「豊かな人間性を培う」「健康な心身を作る」「望ましい個性を伸ばす」を達成するとともに、きめ細かな教育活動を通して、これからの国際社会で活躍することができる豊かな教養と人間性を育成し、生徒の進路希望の実現を図る学校を目指す。</p>	<p>【スクール・ミッション】 豊かな人間性を培いつつ、個性を伸ばすことを教育目標とし、基礎学力、コミュニケーション能力、社会への関心、課題解決力、自己管理能力、キャリアプランニング能力を培うといった教育活動を通じて、生涯にわたる人間力を身に付けた社会に貢献する人物を育成します。</p>							
1	<p>(1) グラデュエーション・ポリシー【育成を目指す資質・能力に関する方針】 「未来志向の人間力」を身に付けるために以下の力を育みます。 ①思考力 論理的に思考する力・知識を知恵に変換する力 ②発信力 自分の考えを分かりやすく相手に伝える力 (プレゼンテーション能力) ③想像力 未来に対して今の行動を変えたり、対策を考えたりする力 ④創造力 新たな価値を生み出す力 ⑤協働力 他者と協力しながら問題解決していく力 ⑥自己管理能力 社会のルールや人との約束を守る規律性・ストレスを克服する力</p>	<p>(2) カリキュラム・ポリシー【教育課程の編成及び実施に関する方針】 生徒の価値を高め、進路希望を実現させるために以下のことに取り組みます。 ①進路実現に必要な力を養うために、習熟度別授業や少人数制授業を実施します。 ②生徒の個性を生かし、メリハリのある授業展開を実施するために45分×7時間授業を実施します。 ③進路に必要な教科・科目を幅広く選択できるよう、必修科目を1年生で多く履修できるカリキュラムを編成します。 ④意欲ある生徒のために放課後の学習支援や長期休業中の補習などを実施します。 ⑤学校生活を有意義に過ごせるよう学習と部活動の両立を支援します。 ⑥部活動では技術の向上だけではなく人間形成の場として自己管理能力や協働力を身に付ける活動に取り組みます。 ⑦授業や行事などにより、生徒の情報発信力やプレゼンテーション能力、リーダーシップを育みます。 ⑧自分の生き方を考え、自分の進路を実現できるように3年間を見通したキャリア教育を実施します。</p>	<p>(3) アドミッション・ポリシー 【入学者の受入れに関する方針】 本校での教育活動を理解し、自らの可能性を仲間とともに伸ばしていく生徒を強く求めます。 ①永山高校をよく理解し、普段の学校生活はもとより、行事や部活動に積極的に取り組む意欲溢れる生徒 ②自ら挨拶ができ、基本的な生活習慣を身に付け、社会や学校のルールを守ることでできる生徒 ③自分の進路希望を実現する強い意志をもった生徒 ④自らの価値を高めるために、資格取得などに取り組むチャレンジ精神旺盛な生徒</p>						
2	<p>【目標1】高い志の進路実現 ＜方策1＞生徒一人1台端末の活用など学力向上を図る授業改善を推進 ＜方策2＞問題発見・解決能力等を育む学習を推進 ＜方策3＞漢字検定や英語検定等の資格取得を推進</p> <p>【目標2】生活指導・教育相談の充実 ＜方策4＞部活動の活性化と部活動加入率の向上 ＜方策5＞服装や頭髮指導の徹底、基本的生活習慣の定着 ＜方策6＞生徒の心に寄り添う支援の充実</p> <p>【目標3】豊かな心の育成と地域貢献力の醸成 ＜方策7＞ESD（持続可能な開発のための教育）を推進 ＜方策8＞読書活動の充実と読書週間の定着 ＜方策9＞多摩市内唯一の都立高校として地域連携を推進</p>								
3	①重点目標	<p>【1】学習指導等 (1) 学力向上を図る授業改善 (2) 「主体的な学び」の実現 (3) 補習・補講の充実 (4) オンライン学習を推進 (5) 教科等の探究活動を推進 (6) 夏期講習の充実</p>	<p>【2】生活指導 (1) 部、委員会活動の活性化 (2) 服装や頭髮指導の徹底 (3) 基本的生活習慣の定着 (4) 遅刻指導の充実 (5) 特別支援教育の推進 (6) 不登校やいじめの未然防止</p>	<p>【3】進路指導 (1) 科目「総合的な探究の時間」を推進 (2) キャリア教育の充実 (3) 資格取得を推進 (4) 大学進学率の向上 (5) 模試分析会の充実</p>	<p>【4】健康づくり 総合的な子供の基礎体力向上方策(第四次推進計画)に基づき、保護者・関係者等と連携し、栄養・運動・休養の三原則を基に健康の保持増進と体力向上を図る</p>	<p>【5】特別活動 (1) 道徳教育を推進 (2) 安全な学校行事を推進 (3) 防災教育を推進 (4) 読書活動の充実 (5) 美化活動を推進</p>	<p>【6】地域貢献 多摩市内唯一の都立高校として地域に貢献するとともに、ボランティア活動等を通して社会性の涵養を図る</p>	<p>【7】広報活動 (1) ホームページの充実 (2) 説明会等の充実 (3) 教育活動の広報 (4) 中学校等への広報活動の充実</p>	<p>【8】学校経営 (1) 授業力の向上 (2) 自律経営推進予算の効果的な執行 (3) 働き方改革の取組 (4) 持続可能な社会の実現 (5) 指定校事業の推進</p>
	②重点目標達成のための具体的方策	<p>①観点別評価に基づく授業改善を通して学力向上を図る。 ②教科ごとに目標と評価を明確化させ、生徒の主体的な学びを推進する。 ③地域人材等を活用した学習活動を推進する。 ④日常の学習を補うとともに、大学進学等の進路実現に向けた補習・補講等を強化する。 ⑤「都立学校スマートスクール構想」を推進する。 ⑥常にオンライン学習に対応できる環境を整えておく。 ⑦定期考査の共通問題の教科内相互点検によるケアレスミスの撲滅と教科内考査問題の共通化を推進する。 ⑧探究活動を通して、課題の解決に向けた実践力を育成する。 ⑨生徒の進路実現に向け夏期講習の充実を図る。</p>	<p>①全教職員が部活動、委員会活動の積極的な取組を奨励し、心身の健康を増進させる。 ②部活動の年間活動計画について部活動保護者会を通して生徒・保護者に示す。 ③服装や頭髮指導に全教職員が一貫性をもって取り組む。 ④生活指導部を中心に、全教職員が指導方針や指導方法について共通理解を図り、社会人としての基本的なルールやマナーを身に付け実践できる生徒を育成する。 ⑤遅刻をしない、約束を守る生徒の育成に取り組む。 ⑥生徒の心身の変化に注意して健全な学校生活が送れるように教職員間での情報共有と組織的指導を推進する。 ⑦生徒の変容を敏感に察知し、家庭との連携を密に図り、不登校やいじめの未然防止に努める。</p>	<p>①進路指導部主体の科目「総合的な探究の時間」を推進する。 ②3年間を見通したキャリア教育の全体計画を踏まえた進路指導を教科活動等においても推進する。 ③漢字検定や英語検定等の資格取得に向けた講習会や個別指導の充実を図るとともに、実社会で役に立つ資格・検定の取得を推進する。 ④大学進学希望者に対して高い志と学習意欲を育み、全教職員が大学受験等を支援する。 ⑤大学進学決定者に対する2学期以降の学習支援体制を充実させる。 ⑥模擬試験等の結果について、各学年、各教科で分析して進路指導の一助にするとともに、授業改善に反映させる。</p>	<p>①生徒が生涯健康で充実した生活を過ごすための基礎知識と体力向上ための習慣を身に付けさせる。 ②個々の生徒に応じた指導・支援の充実を図るとともに、教育相談委員会を中心に、合理的な配慮を必要とする生徒等への支援を充実させる。 ③関係機関との連携の下、配慮が必要な生徒へのケアを充実させる。 ④保護者と連携し、健康の保持増進に向けた取組を推進する。 ⑤体育活動に親しむ行事を通して体力向上を図る。 ⑥スクールカウンセラー等を活用し、研修会等を通して学校全体の相談体制をより一層機能させる。</p>	<p>①学校行事の教育効果を一層高め情操を豊かにするとともに、生徒に望ましい帰属意識をもたせ自尊感情の高揚を図る。 ②学校行事は感染症対策をはじめ、安全に配慮しながら計画的に実施する。 ③地域との連携を強化した防災教育をはじめ、関係機関との協力体制の下、防災に係る活動を推進する。 ④書評合戦を学年行事として定着させるとともに、読書活動の取組を一層強化する。 ⑤書籍や新聞を活用し多面・多角的に思考させる。 ⑥校内、校舎内周辺の美化活動を通して生活環境の改善に努める。</p>	<p>①近隣の小・中学校等との交流を活発化させ、地域から信頼される学校づくりを推進する。 ②教職員が地域との連携を強化するとともに、生徒の自発的なボランティア活動を推進する。 ③部活動を中心に地域行事への積極的な参加を推進する。 ④生徒が地域と連携した清掃活動に取り組むことなどを通して地域貢献意識の定着を図る。 ⑤学年行事として地域貢献活動を推進する。</p>	<p>①ホームページの充実に向け、学校行事や学年行事を1か月以内に中学生やその保護者に情報発信する。 ②全教職員による学校説明会及び中学校訪問を実施する。 ③中学生や保護者に分かりやすい学校説明会等を実施するために創意工夫する。 ④部活動の大会結果や活動の様子等を写真などにより積極的にホームページへ掲載する。 ⑤多摩市を中心とした近隣中学校への募集活動を強化する。 ⑥新たな広報活動を模索する。</p>	<p>①教員間の授業相互観察を年間3回以上実施する。 ②授業で生徒一人1台端末やICT機器を効果的に活用するための研さんを積む。 ③教科会の充実とともに、教科の枠を超えた指導法についての情報交換を積極的に行う。 ④「チーム永山」として、経営企画室の学校経営参画を推進し、適正な予算編成・執行、財務管理の徹底を図る。 ⑤計画的な仕事の遂行など教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。 ⑥全教職員が持続可能な開発のための教育(ESD)を推進する。 ⑦「TOKYO教育DX推進校」と「都立学校における部活動改革パイロット校」として指定校事業を推進する。 ⑧体罰防止など、服務規律を厳守する。</p>
	③数値目標等	<p>I 補習・補講 週1回以上 II アクティブ・ラーニングを意図したICTを活用した授業実践に取り組む教員 80%以上 III 教育委員会による授業参観 年3回以上 IV 生徒による授業評価 年2回</p>	<p>I 部活動加入率 60% II 1年生の年度末部活動加入率 65% III 部活動実績の向上 昨年度以上の結果 IV 遅刻者延べ回数 4000回以下 V 特別指導件数 5件以下 VI いじめ、自殺 0件 VII チャイム着席 100%</p>	<p>I 検定試験による資格取得者 80名以上 II 大学入学共通テスト受験者 15名以上 III 大東亜帝国級大学合格 20名以上 IV 夏期講習 延べ50講座以上 V 進路だより 毎月1回以上 VI 進路未決定率(進学準備を除く) 0%</p>	<p>I 保健だより 年6回以上 II 保健に関わる研修会 年1回以上 III 体力テストによる全生徒平均値の前年比1.1倍以上 IV カウンセラーによる第一学年生徒全員面接の実施 V 教育相談に関する会議 年15回以上</p>	<p>I 感染症対策の徹底 毎日 II 避難訓練 年4回 III 地域との連携を強化した防災教育 9月 IV 図書館利用率 昨年度比5%増 V 書評合戦 東京都大会1回戦突破 VI 清掃活動 毎日</p>	<p>I 地域間連携(出前授業・合同部活動等) 年間15回以上 II 地域と連携した清掃活動 年3回以上 III 新たな地域連携活動 年3回以上 IV 近隣小中学校との交流活動 年5回以上</p>	<p>I 学校のウェブページ更新回数 350回以上(学年行事30回以上) II 入試倍率 推薦2.0倍以上 一般1.2倍以上 III 教員による中学校等訪問 年3校以上 IV 本校会場の説明会 年1回</p>	<p>I 授業相互観察 一人3回以上 II 校内研修 年6回以上 III 一般需用費の支援センター利用率 60%以上 IV 一般需用費の予算執行率 99%以上 V 教職員の年休取得 15日未満 15人以下 VI ESDの取組 一人1回以上 VII 服務事故 0件</p>